授業科目名	治療のためのNP実践演習			単位数	2	時間数	
Course Title	Exercise for medical treatment about Nurse Practitioner			必修・選択	NP必修	受講対象年	1年次
科目コード	95625810	授業の形式	講義（オンデマンド	講義室等	オンデマンド授業、秋田大学病院シミュレーション		
開設学期等	後期 土曜日 ７・８時限						

【担当教員名】	【職名／所属】	【研究室番号】	【電話番号】	【担当教員名】	【職名／所属】	【研究室番号】	【電話番号】
安藤秀明	教授／看護学講座	WebClass	WebClass mail	吉岡政人	教授／看護学講座	WebClass	WebClass mail
利緑	講師／看護学講座	WebClass	WebClass mail	髙敷　倫子	診療看護師／秋田大学医学部附属病院	WebClass	WebClass
佐藤　大祐	診療看護師／秋田大学医学部附属病院	WebClass	WebClass	村上光太郎	診療看護師／大館市立総合病院	WebClass	WebClass
古川　茜	診療看護師／大館市立総合病院	WebClass	WebClass	井島大地	診療看護師／秋田赤十字病院	WebClass	WebClass
三宅徹	診療看護師／秋田大学医学部附属病院	WebClass	WebClass	工藤尚也	診療看護師／秋田大学医学部附属病院	WebClass	WebClass
河邉亮太	診療看護師／秋田大学医学部附属病院	WebClass	WebClass	藤井詩乃	診療看護師／秋田大学医学部附属病院	WebClass	WebClass

授業の目的・到達目標

すべての診療行為（特定行為に関する医行為を含む）について、シミュレータを用いて演習を行う。手技に関しては、OSCEを実施して実践能力を評価担保する。また、患者の治療・療養の場は急性期のみならず慢性期あるいは療養の場においてもシームレスな連携が必要なため、これをふまえた適応、対応、効果判定、記録を修得する。

急性期・慢性期領域疾病に対するアセスメント、必要な検査、処置・治療について、事例ベースに、診療の時間経過とともに変化する対応を検討修得する。
（1）気管内挿管チューブ調整、人工呼吸器管理を学び、理解する。
（2）循環器サポート機器（ペースメーカー、経皮的心肺補助装置・大動脈内バルーン・パンピング）を学び理解する。
（3）循環器病態に投与する薬剤効果・有害事象を学び、理解する。
（4）術後留置ドレーン管理を学び、理解する。
（5）栄養管理、血糖管理、中心静脈カテーテル管理、末梢型中心静脈カテーテル管理について学び理解する。
（6）動脈血ガス分析について学び説明出来る。

授業の概要と進行予定及び進め方

講義（放送授業）：e-ラーニングの受講/確認テスト、添削指導
講義（手技動画）（放送授業・面接授業）：手技動画の視聴/手技練習の観察評価
【時間外学習】各回の授業内容について、復習する。

成績評価の方法

講義でのグループワーク観察評価および形成試験。総合単位認定試験（筆記試験）。各実習については（DOPｓ等）観察評価。

教科書・参考書・参考文献等

教科書等	書籍名	著者	出版社

コメント

本授業科目は「実務経験のある教員による授業科目」及び「双方向又は多方向に行われる討論を伴う授業科目」である。
医療・保健活動に実務経験を有した教員（医師・看護師・保健師・理学療法士・作業療法士）が、その実践経験を生かして実践的な教育を行う。

授業展開	Web受講	授業内容
第1回　1日目　1-2 時限 【担当】 安藤秀明、吉岡政人、利緑	○	【気道確保】　手順書の作成／位置調整／トラブル対応 【人工呼吸器】　侵襲的陽圧換気の設定変更 【長期呼吸療法】　気管カニューレの交換
第2回　1日目　3-4 時限 【担当】 安藤秀明、吉岡政人、利緑	○	【一時的ペースメーカー】　リード抜去 【経皮的心肺補助装置】　操作および管理 【大動脈内バルーン・パンピング】　補助頻度の調整 【心嚢ドレナージ】　ドレーン抜去
第3回　1日目　5-6 時限 【担当】 安藤秀明、吉岡政人、利緑	○	【腹腔ドレーン】　抜去 【胃瘻・胃瘻ボタン・腸瘻・膀胱瘻・腎瘻】　交換
第4回　2日目　1-2 時限 【担当】 安藤秀明、吉岡政人、利緑	○	【中心静脈カテーテル管理】　抜去 【末梢型中心静脈カテーテル】　抜去／挿入
第5回　2日目　3-4 時限 【担当】 安藤秀明、吉岡政人、利緑	○	【創傷管理】　褥瘡及び慢性創傷の治療における血流のない壊死組織の除去／壊死組織の除去に伴う出血の止血方法／局所陰圧閉鎖法 【創部ドレーン】　抜去 【皮膚損傷に係る薬剤投与】　薬剤が血管外に漏出したときのステロイド薬の局所注射及び投与量の調整
第6回　2日目　5-6 時限 【担当】 安藤秀明、吉岡政人、利緑	○	【動脈血ガス分析】　直接動脈穿刺法による採血／橈骨動脈ラインの確保
第7回　3日目　1-2 時限 【担当】 安藤秀明、吉岡政人、利緑	○	【透析関連】 血液透析器　操作および管理 血液透析濾過器　操作および管理
第8回　3日目　3-4 時限 【担当】 安藤秀明、吉岡政人、利緑	○	【栄養】 手順書作成 高カロリー輸液投与の調整
第9回　3日目　5-6 時限 【担当】 安藤秀明、吉岡政人、利緑	○	【水分管理】 手順書作成 輸液投与量や電解質の補正
第10回　4日目　1-2 時限 【担当】 安藤秀明、吉岡政人、利緑	○	【感染に係る薬剤投与】 感染徴候のある者に対する薬剤の臨時投与
第11回　4日目　3-4 時限 【担当】 安藤秀明、吉岡政人、利緑	○	【血糖コントロールに係る薬剤投与：インスリン】 投与量の調整／用量判断基準／製剤調整／患者教育／退院支援
第12回　4日目　5-6 時限 【担当】 安藤秀明、吉岡政人、利緑	○	【術後疼痛】 硬膜外カテーテルによる鎮痛剤投与と用量調整
第13回　5日目　1-2 時限 【担当】 安藤秀明、吉岡政人、利緑	○	【循環動態にかかわる薬剤投与】　判断基準と手順書作成 持続点滴中のカテコラミン・降圧剤の投与量の調整 持続点滴中の糖質輸液又は電解質輸液の投与量の調整 持続点滴中の利尿剤の投与量の調整
第14回　5日目　3-4 時限 【担当】 安藤秀明、吉岡政人、利緑	○	【精神及び神経症状に係る薬剤投与】　判断基準と手順書作成 抗けいれん剤の臨時の投与 抗精神病薬の臨時の投与 抗不安薬の臨時の投与
第15回　5日目　5-6 時限 【担当】 安藤秀明、吉岡政人、利緑	○	OSCE